

立皇嗣の礼 来月19日に

政府は24日、秋篠宮さまが皇位継承順位1位の皇嗣になられたことを広く示す「立皇嗣(りっこうし)の礼」を国事行為として4月19日に行うことを閣議決定した。立皇嗣の礼は、「立皇嗣宣明の儀」と「朝見(ちょうけん)の儀」で構成する。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、祝宴「宮中饗宴(きょうえん)の儀」は中止される。

閣議では、上皇ご夫妻のお住まいを今月31日から当分の間、東京都港区高輪の仙洞(せんとう)仮御所とするとの内閣告示も決めた。

鹿兒島知事選 7月12日投開票

鹿兒島県選挙管理委員会は24日、7月27日の任期満了に伴う知事選の日程を6月25日告示、7月12日投開票と決めた。知事選には、再選を目指す現職の三反園訓氏(62)と鹿兒島大特任助教で新人の有川博幸氏(61)、前九州経済産業局長で新人の塩田康一氏(54)、前知事の伊藤祐一郎氏(72)が出馬を表明している。

宮崎・西都市で震度3

24日午後0時15分頃、宮崎県北部平野部を震源とする地震があり、同県西都市で震度3を観測した。気象庁によると、震源の深さは約20キロ、地震の規模を示すマグニチュードは3.1と推定される。

「こうのとりの」5月で引退

宇宙航空研究開発機構(JAXA<ジャクサ>)と三菱重工業は24日、国際宇宙ステーション(ISS)へ物資を運ぶ無人補給船「HTV(愛称・こうのとりの)」9号機を、種子島宇宙センター(鹿兒島県南種子町)から、5月21日午前2時半頃に打ち上げると発表した。こうのとりのの打ち上げは今回が最後で、順調にいけば同25日夜にISSに到着する。次回からはJAXAが開発を進めている新型の補給船「HTV-X」が物資輸送を担う。こうのとりは2009年以降、これまで8回打ち上げられた。こうのとりを搭載して運ぶ大型ロケットH2Bも今回を最後に退役する。

藤井七段 3年連続勝率8割

将棋の藤井聡太七段(17)は24日、大阪市の関西将棋会館で行われた王位戦挑戦者決定リーグで、稲葉陽(あきら)八段(31)に129手で勝ち、同リーグ3連勝とした。藤井七段の今年度の公式戦通算成績は52勝12敗(未放送のテレビ対局含む)で勝率8割1分3厘となり、3年連続の勝率8割以上が確定。日本将棋連盟によると、1974年の将棋大賞制定以降では初の快挙だという。



那覇空港 第2滑走路を公開

那覇空港(那覇市)の第2滑走路の運用開始を26日に控え、国土交通省那覇空港事務所は24日、新たな滑走路や管制塔を報道陣に公開した。写真。第2滑走路は長さ2700メートル、幅60メートル。2014年から、既存の第1滑走路の西約1.3キロの沖合を埋め立て、整備していた。総事業費約2000億円。滑走路が2本に増えることに伴い、航空機を安定的に受け入れられる離着陸回数は年間13万5000回から24万回に増える。

西日本豪雨 被害最悪1.2兆円

国土交通省は24日、2018年7月の西日本豪雨の被害総額が約1兆2150億円に上り、単一の水害としては、統計を開始した1961年以降で最悪だったと発表した。西日本豪雨に関する被害額が確定した。

国交省は都道府県の報告に基づき、2018年6月26日～7月9日の豪雨被害を集計。堤防決壊や土砂崩れが各地で相次ぎ、被災建物は約5万6000棟、浸水面積は約1万8500ヘクタールに上った。建物や農作物などの「一般資産」の被害は約8048億円、道路や堤防などの「公共土木施設」が約3868億円に上った。

都道府県別は、岡山県が最多の約4198億円。広島県約3387億円、愛媛県約1657億円となった。

CO₂濃度 観測史上最高更新

気象庁は24日、大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度の2019年平均値が、定点観測している国内3か所全てで観測史上最高を更新したと発表した。

同庁によると、岩手県大船渡市の観測地点が414.0ppm、南鳥島(東京都小笠原村)が412.2ppm、与那国島(沖縄県与那国町)が414.8ppm。前年に比べてそれぞれ2.0～3.1ppm増えた。同庁は「人為的要因で二酸化炭素濃度の増加が続いている」とみている。

寝屋川殺害 弁護側が特別抗告

大阪府寝屋川市の中学1年の男女2人が殺害された事件を巡り、1審で死刑判決を受けた山田浩二被告(49)の控訴取り下げが有効かどうか争われた審理で、弁護側が、大阪高裁の無効判断を取り消した上で、再審理を求めた別の裁判部の高裁決定を不服として最高裁に特別抗告した。23日付。